

2018年度 報告書



青山学院大学保健管理センター

巻頭言

保健管理センター副所長 稲垣 中
保健管理センター所長 五味 慎太郎

令和元年 9 月 26 日の厚生労働省の報告によると、平成 29 年度のわが国の国民医療費は平成 28 年度より 2.2%増加して、43 兆円を超えたそうです。わが国の平成 29 年度の国内総生産(GDP)が約 547 兆円で、平成 28 年度と比較した増加率が 2.0%にとどまったことを考慮すると、このまま国民医療費が増加していくことに不安を感じる人は少なくないと思われます。加えて、最近は桁外れに高価な薬が次々に登場しています。例えば、令和元年 5 月に上市されたある白血病治療薬は1回あたりの値段が 3349 万円もしますし、現在審査中の遺伝子治療薬の中には1アンプル2億円以上もする高額な薬があるといえます。このような事態を反映してか、わが国ではこれまで新薬を導入する際には有効性と安全性に問題がなければ、価格については比較的寛容であったのが、費用対効果についても検討して、場合によっては価格を引き下げるといったような方針転換がなされました。多くの先進国では 10 年以上前から薬の費用対効果について検討されてきたので、「今回のわが国の動きは国際標準では遅すぎたくらいである」といった鋭い指摘もあります。今回、医療に経済学的視点を導入することによってわが国の医療にどのような変化がもたらされるのでしょうか？ 実に興味深く、これから数年は目が離せないところです。

本学の保健管理センターは大学における健康管理担当者が集まる全国大学保健管理研究集会に毎年参加して、研究成果を発表してきたのですが、この数年は本学からの研究発表水準も上がってきたと自負しております。今年は「女性教職員における睡眠実態に関する調査～三次元型睡眠尺度を用いて～」と題する研究を行い、睡眠を質、量の2つの側面のみならず、睡眠リズムの観点からも検討しました。この 40 年ほど、わが国では終夜営業の店が登場したり、テレビの深夜放送が一般化するなど、国全体として「夜更かし」の傾向が強くなってきております。最近は PC やスマートフォンのディスプレイが放つブルーライトの影響によって、「体内時計」に不調をきたす人が増えてきたことが社会問題になっています。今回の発表はこのような時代を反映して企画したもので、今年に引き続き、来年も教職員を対象とした睡眠に関する研究を計画しております。一方、学生は時間が自由になることもあって、夜更かしをする傾向にある上に、最近はインターネット依存等との関連で、一晩中 PC やスマートフォンにかじりついている人が増えています。このことを考慮すると、保健管理センターとしては、学生を対象にした睡眠に関する調査を行って、その結果を学生にフィードバックすることを考えるべきかもしれません。この件については今後の宿題とさせていただければと考えております。

今後とも御支援いただければ幸いに存じます。

目次

2018 年度業務報告

1. 年間業務内容	4
2. 学生定期健康診断	6
①学生定期健康診断受診状況（全キャンパス）	6
②学生定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）	7
③学生定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）	8
④学生の身体状況（肥満とやせ）	9
⑤学生集団健康教育	10
⑥感染症罹患報告者数	12
⑦学生の休学・退学者数	12
3. 教職員定期健康診断	13
①教職員定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）	13
②教職員定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）	14
③教職員の身体状況（肥満とやせ）	15
④保健指導と集団健康教育	17
⑤教職員の休職・復職者数（対象：学院全体）	18
⑥長時間労働者への産業医による面接	18
⑦ストレスチェック受検率に関する報告（対象：学院全体）	19
4. その他の法定健康診断	20
①特殊健康診断（相模原キャンパス）	20
②雇入時の健康診断	22
③特定業務従事者健康診断	22
5. 健康診断証明書発行業務	23
①青山キャンパス健康診断証明書発行枚数	23
②相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数	23
6. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況	24
①青山キャンパス	24
②相模原キャンパス	25
7. 各キャンパス業務内容利用状況	26
①青山キャンパス	26
②相模原キャンパス	28
8. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況	29

9. 各種情報処理	30
①学生健康診断処理関係	30
②教職員健康診断処理関係.....	30
10. 受動喫煙防止対策	31

I.2018 年度業務報告

1. 年間業務内容

月	業務	対象	備考
4月	入学式（学部・大学院）（4/2） 学生定期健康診断（4/2～6） 学生定期健康診断（4/3～6） 定期健康診断未検者外部健診施設紹介及び事後処理 精神衛生相談（精神科医）開始（4/7～通年） 学生定期健康診断後の二次検診 腎・泌尿器二次検診 循環器二次検診及び循環器管理者検診<心電図・血圧・医師診察> 呼吸器二次検診<胸部X-P・医師診察> 内科・血圧二次検診 問診調査・聴力検査・視力再検査・有疾患者医師面接 尿検査未検者健診 介護体験実習用細菌検査受付開始（5/29～通年） 健康診断証明書発行業務 健康診断証明書発行（4/25～通年） 英文診断書発行（4/25～通年） 卒業生（有疾患者）進路調査	学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生	青山 青山 相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原
5月	特定化学物質・有機溶剤・電離放射線健康診断（5/9～11） 学生定期健康診断後の二次検診 腎・泌尿器二次検診 循環器二次検診及び循環器管理者検診<心電図・血圧・医師診察> 内科・血圧二次検診 問診調査・聴力検査・視力再検査・有疾患者医師面接 BMI 有所見者保健指導 未検項目検診 専門職大学院入試救護待機（5/26・27） 保健管理センター世界禁煙デーイベント（5/31～6/6）	学生・教職員 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生	相模原 青山・相模原 相模原 青山 青山
6月	特定化学物質・有機溶剤・電離放射線二次検診、医師面接 常設救急箱点検 Aoyama Rikei Girls フェア救護待機（6/9） 保健管理センター運営委員会（6/27） 東北学院大学対青山学院大学総合定期戦救護待機	学生・教職員 保健管理センター 来校者 運営委員 学生	相模原 相模原 相模原 青山 青山
7月	専門職大学院入試救護待機（7/8） 保健管理センターセミナー（7/11） 大学院博士前期課程7月入試救護待機（7/14） オープンキャンパス救護待機（7/15）	受験生 学生 受験生 来校者	青山 青山 相模原 相模原
8月	オープンキャンパス救護待機（8/3・4・5） 第56回大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会（8/2・3）	来校者 保健センタースタッフ	青山 青山・相模原
9月	大学院博士前期課程9月入試救護待機（9/8） 推薦・特別・編入・転学部陣学科入試救護待機（9/15・29） 青山学院大学同窓祭救護待機（9/23） 教職員定期健康診断（9/20・21・25・26） 教職員定期健康診断（9/27・28） 特定化学物質・有機溶剤・電離放射線健康診断（9/27・28）	受験生 受験生 同窓生 教職員 教職員 教職員	相模原 青山 青山 青山 相模原 相模原

月	業務	対象	備考
10月	特定化学物質・有機溶剤・電離放射線二次検診、医師面接 第56回全国大学保健管理研究会（10/3・4） 専門職大学院入試救護待機（10/6・7） 相模原祭救護待機（10/6・7） 推薦・特別・編入・転学部転学科入試救護待機（10/13） 大学院博士前期・後期課程外国人留学生入試第1期、大学院博士後期課程入試第1期救護待機（10/13）	教職員 保健センタースタッフ 受験生 学生・来校者 受験生 受験生	相模原 青山・相模原 青山 相模原 青山 相模原
11月	教職員健康診断二次検診 教職員疾病管理者の医師面接 教職員保健指導（11月～1月） 青山祭救護待機（11/2・3・4） 推薦・特別・編入・転学部転学科入試救護待機（11/10・23・24） 推薦・特別・編入・転学部転学科入試救護待機（11/10・24） 保健管理センターセミナー（11/15・30） 学生疾病管理者・有疾患学生保健指導（11/26～12/21） 保健管理センター世界エイズデーイベント（11/29・30） 大学入学共通テスト導入に向けた平成30年度試行調査の実施に伴う救護待機（11/10） 八大学担当者会議（11/22）	教職員 教職員 教職員 学生・来校者 受験生 受験生 学生・教職員 学生 学生・教職員 受験生 保健センタースタッフ	青山・相模原 青山・相模原 青山 青山 青山 相模原 青山 青山・相模原 青山 青山 青山・相模原
12月	保健管理センターセミナー（12/5） 専門職大学院入試救護待機（12/8・9）	教職員・学生 受験生	青山 青山
1月	保健管理センターセミナー（1/16） 大学入試センター試験救護待機（1/19・20）	教職員・学生 受験生	青山 青山
2月	大学院博士前期・後期課程外国人留学生入試第2期、大学院博士後期課程入試第2期救護待機（2/2） 一般入試救護待機（2/7・10・11・13・14・15・18・19・21） 専門職大学院入試救護待機（2/2・9・16・23） 特定業務従事者健康診断（2/26）	受験生 受験生 受験生 教職員	相模原 青山 青山 相模原
3月	学位授与式(学部・大学院)救護待機（3/25） 有疾患学生管理検診の通知発送 医薬品在庫調査・常設救急箱点検 医薬品在庫調査	学生・来校者 学生 保健管理センター 保健管理センター	青山 青山・相模原 青山 相模原

保健管理センター通年業務

- * 救急処置
- * 学生健康診断、教職員健康診断、特殊健康診断、特定業務従事者健康診断
- * 健康相談
- * 精神衛生相談
- * 保健指導
- * 集団健康教育
- * 各種健康診断証明書発行
- * 各種業務統計(労働基準監督署・文部科学省・保健所・年報等)
- * 各種届け出及び申請書の作成(医療廃棄物処理・結核予防法)
- * 教職員の休職、復職支援、長時間労働等に関する産業保健業務
- * 診療及び保険診療報酬請求事務

2. 学生定期健康診断

①学生定期健康診断 受診状況（全キャンパス）

（2018年4月 現在・・・地球社会共生学部留学帰国生のみ7月 現在）

学部			学 年 別					性 別		合 計
			一年生	二年生	三年生	四年生	大学院 専門職大学院	男	女	
昼 間 部	文学部	学 生 数	723	758	808	872	—	773	2388	3161
		受診者数	698	626	687	739	—	634	2116	2750
	教育人間科 学部	学 生 数	307	341	325	375	—	406	942	1348
		受診者数	304	319	311	347	—	379	902	1281
	経済学部	学 生 数	519	596	556	668	—	1526	813	2339
		受診者数	512	473	449	543	—	1249	728	1977
	法学部	学 生 数	471	516	507	590	—	1104	980	2084
		受診者数	464	423	413	475	—	888	887	1775
	経営学部	学 生 数	495	556	572	615	—	1154	1084	2238
		受診者数	490	463	462	506	—	957	964	1921
	国際政治経済 学部	学 生 数	289	327	320	350	—	567	719	1286
		受診者数	287	267	249	269	—	446	626	1072
	総合文化政策 学部	学 生 数	260	254	303	302	—	372	747	1119
		受診者数	255	233	254	239	—	303	678	981
	理工学部	学 生 数	645	625	783	636	—	2114	575	2689
		受診者数	636	579	663	586	—	1914	550	2464
	社会情報学部	学 生 数	191	229	282	251	—	596	357	953
		受診者数	188	212	237	214	—	518	333	851
	地球社会共生学部	学生数	197	173	260	209	—	302	537	839
		受診者数	189	158	236	181	—	268	496	764
	昼間部合計	学 生 数	4097	4375	4716	4868	—	8914	9142	18056
		受診者数	4023	3753	3961	4099	—	7556	8280	15836
		受診率	98.2	85.8	84.0	84.2	—	84.8	90.6	87.7
第 二 部	文学部	学 生 数	—	—	—	1	—	1	0	1
		受診者数	—	—	—	0	—	0	0	0
	経済学部	学 生 数	—	—	—	—	—	—	—	—
		受診者数	—	—	—	—	—	—	—	—
	経営学部	学 生 数	—	—	—	—	—	—	—	—
		受診者数	—	—	—	—	—	—	—	—
	第二部合計	学 生 数	—	—	—	—	—	1	0	1
		受診者数	—	—	—	—	—	0	0	0
		受診率	—	—	—	—	—	0.0	—	0.0
大学院・専門職大学院		学 生 数	—	—	—	—	1196	776	420	1196
		受診者数	—	—	—	—	825	540	285	825
		受診率	—	—	—	—	69.0	69.6	67.9	69.0
総合計		学 生 数	4097	4375	4716	4869	1196	9691	9562	19253
		受診者数	4023	3753	3961	4099	825	8096	8565	16661
		受診率	98.2	85.8	84.0	84.2	69.0	83.5	89.6	86.5

*上記は科目等履修生(学生数107名、受診者数16名、受診率15.0%)、専門職大学院後期入学者(学生数13名、受診者数4名、受診率30.8%)を除く

②学生定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）

青山キャンパス

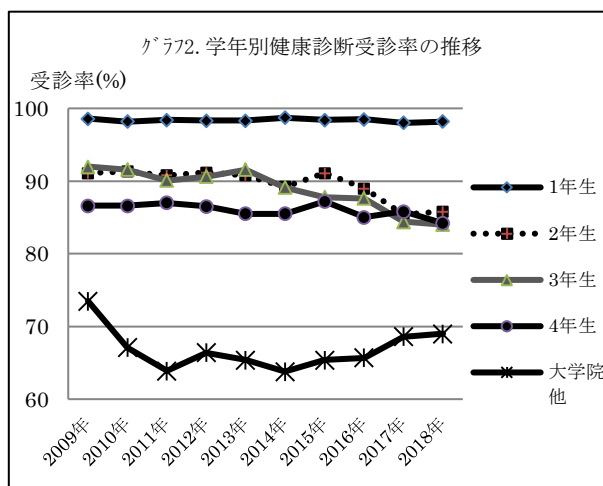
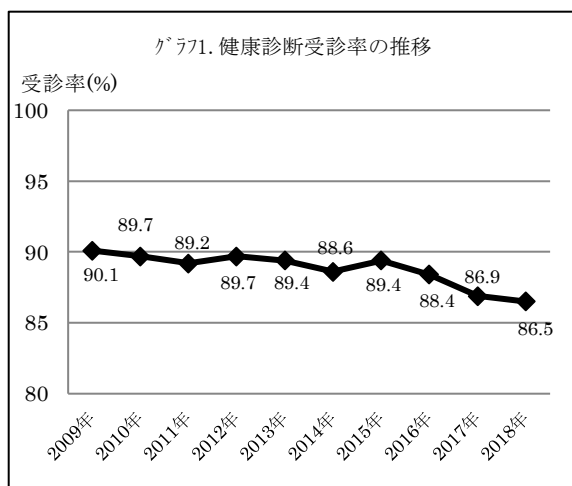
(2018年4月24日現在)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率(%)		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	14500	5079	7160	12239	79.4	88.4	84.4
問診	14500	5079	7160	12239	79.4	88.4	84.4
レントゲン	14500	5078	7155	12233	79.3	88.3	84.4
視力	11436	3792	5419	9211	74.4	85.4	80.5
内科診察	7825	2843	3911	6754	80.8	90.8	86.3
尿検査	7825	2871	3870	6741	81.6	89.9	86.1
血圧測定	3348	1114	1710	2824	77.7	89.3	84.3

相模原キャンパス

(2018年4月24日現在/地球社会共生学部留学帰国生のみ7月18日現在)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率(%)		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	4856	3023	1413	4436	90.2	93.9	91.4
問診	4856	3023	1413	4436	90.2	93.9	91.4
レントゲン	4856	3022	1413	4435	90.2	93.9	91.3
視力	3823	2360	1063	3423	88.3	92.5	89.5
内科診察	2534	1634	752	2386	93.5	95.6	94.2
尿検査	2542	1632	729	2361	93.0	92.5	92.9
血圧測定	1028	655	306	961	92.8	95.0	93.5



2018年度の学生健康診断受診率は、受診率の低かった昨年度からさらに低下して86.5%であった。昨年同様、学年、学部指定日以外の受診も可能とし、また、健康診断当日には適宜混雑情報を学生ポータルに配信して受診を促し、さらに学部必須の留学のため健康診断を受診できない地球社会共生学部の学生に対しては7月に受診の機会を設けたが、全体の受診率の上昇にはつながらなかった。

学部別受診率を比較すると、教育人間科学部、理工学部、地球社会共生学部が高く、経済学部、国際政治経済学部が低く、学部による受診率の差は、毎年同じような傾向にある。社会人学生の多い専門職大学院生の受診率は依然低い傾向にある。

③学生定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）

健診項目	有所見者数	有所見率(%)	有所見者の経過（ ）内：人数			
			医師判定にて問題なし	要経過観察	要治療又は治療中	未来室者数
レントゲン 間接撮影	260	1.3	所見あるも問題なし(232) 要直接撮影 (16) 病院受診 (2)	縦隔術後(1)胸部術後(1) 気胸術後(1)索状影 (2) 心拡大(1)	人工弁(1)COPD(1) 腫瘤影 (1) 心拡大(1)	0
レントゲン 直接撮影	6	35.3	病院受診 (3)	索状影 (1) 心陰影拡大 (2)	0	0
循環器 (心臓)	41	0.4	異常なし (18) 所見あるも問題なし(6)	WPW 症候群 (1) 心室性期外収縮(4) 完全大血管転移 (1) 左心室肥大 (1) 心房中隔欠損症 (1) 心室中隔欠損症 (1) 僧帽弁閉鎖不全 (1) 弁膜症 (1)	心室中隔欠損症 (2) 左心緻密化障害 (1) 僧帽弁閉鎖不全症 (1) 両大血管右室起始症・肺動脈狭窄症三尖弁閉鎖不全症 (1) 受診結果未報告 (1)	0
内科 (貧血・他)	87	0.8	異常なし(64)所見あるも問題なし (1) ※重複している学生が2名いるので、実人数を表記	甲状腺腫大(3)貧血(7)	バセドウ病 (2) 橋本病 (1) 甲状腺機能低下症 (1) 貧血 (2) 甲状腺癌 (1) 貧血受診結果未報告 (3)	2
腎・泌尿器	272	2.6	異常なし(215)	蛋白尿(6)尿潜血 (3) 尿潜血・尿蛋白 (1)	I 型糖尿病 (4) 糖尿病 (3) 腎性糖尿 (1) 膜性増殖性糸球体腎炎 (1) 糸球体腎炎疑い (1) 精査中 (5) 尿潜血 (2) 無症候性血尿 (2) IgA 腎症疑い、(2) 慢性糸球体腎炎疑い、(1) 受診結果未報告(1)	24
血圧	105	1.0	所見あるも異常なし(100)	0	高血圧 (1) 受診結果未報告(1)	3

学生定期健康診断における有所見者は延べ 771 人であった。有所見者に対しては再検査や病院紹介等を行っているが、精密検査の結果問題なしは 657 人、経過観察は 40 人、要治療（治療中含む）の学生は 45 人であった。定期健康診断で発見された疾患は、バセドウ病、糖尿病、鉄欠乏性貧血などである。また、治療が必要にも関わらず治療を中断している学生や、循環器疾患等で経過観察を中断している学生、精神的な問題を抱えていることが明らかな学生に対しては、内科医や精神科医による医師面談等を実施し、受診奨励を行った。

④学生の身体状況（肥満とやせ）

1) 身長・体重・BMIの平均値 性×学年別

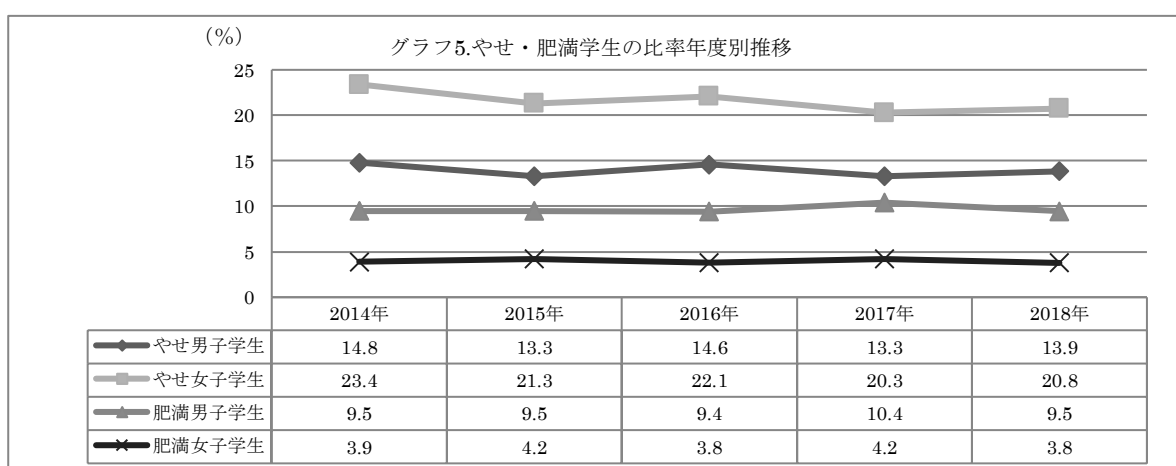
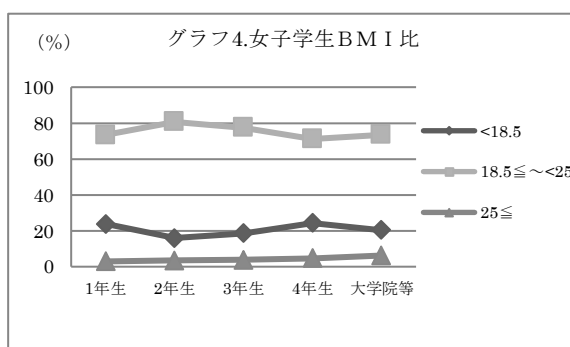
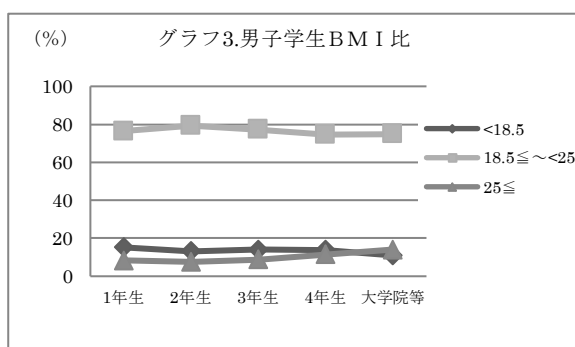
(2018年4月24日現在)

学年	平均値	男子学生				女子学生			
		身長	体重	BMI	平均年齢	身長	体重	BMI	平均年齢
1年生		172.0	62.4	21.1	18.6	158.6	50.6	20.1	18.4
2年生		172.2	62.7	21.1	19.6	158.7	51.8	20.6	19.4
3年生		171.9	62.7	21.2	20.7	158.8	51.6	20.4	20.5
4年生		172.2	63.7	21.5	21.9	158.9	51.0	20.2	21.5
大学院生 専門職大学院生		172.2	64.9	21.9	25.9	159.7	52.6	20.6	28.5
全体平均		172.1	63.0	21.3	20.6	158.8	51.3	20.3	20.3

2) 学年別やせの者・正常者・肥満者の割合 性×学年別

(2018年4月24日現在)

学年	BMI	男子学生			女子学生		
		<18.5 (やせ)	18.5≤~<25 (正常)	25≤ (肥満)	<18.5 (やせ)	18.5≤~<25 (正常)	25≤ (肥満)
1年生		15.2	76.5	8.3	23.8	73.3	2.9
2年生		13.1	79.3	7.6	16.0	80.6	3.4
3年生		14.0	77.2	8.9	18.7	77.5	3.9
4年生		13.9	74.6	11.5	24.2	71.1	4.6
大学院生 専門職大学院生		11.0	75.0	14.1	20.3	73.4	6.2
全体平均		13.9	76.7	9.5	20.8	75.4	3.8



平均身長、平均体重とも全学年を通して毎年大きな変化はない。体格指数（BMI）を全国平均（2015年学生の健康白書）と比較すると、男子学生はやせの割合がやや高く（全国 11.3%に対し本学 13.9%）、肥満の割合が少なく（全国 11.3%に対し本学 9.5%）、また女子学生はやせの割合が高く（全国 15.7%に対し本学 20.8%）、肥満の割合が少ない（全国 5.8%に対し本学 3.8%）傾向が続いている。青山キャンパスでは、やせすぎ（BMI15以下）と太りすぎ（BMI30以上）の学生を対象に個別面談（体調確認・保健指導）を行い、BMI30以上の学生に年2回、肥満予防に関する保健便りを提供している。

やせの学生は 17 名中 15 名 (88.2%) が来室したが、肥満の学生については 103 名 (115 名中通院除く) 中 48 名の来室 (46.6%) にとどまっている。毎年、呼び出しに応じる学生がいる一方で、呼び出しに気づかない場合もあり、今後も呼び出しのタイミングやアプローチの方法の改善が必要である。

⑤学生集団健康教育

学生を対象にした集団教育は、セミナーとイベント方式の二つの方法で実施した。

セミナーは「睡眠」「性教育」「留学生の旅行医学」「月経について」の 4 つのテーマで実施し、講師は保健管理センター非常勤医師、保健師、外部講師（医師、助産師）がそれぞれ担当した。セミナー内容に関しては参加者から概ね好評を得たが、「留学予定者は参加必須」等の強制力を持ったセミナー以外は参加者が少数にとどまった。ここ数年の課題であるが、自主参加型セミナーに関しては学生のニーズの把握と広報面での検討を重ねると共に、今後は協力企業の CSR 活動等も活用しながら集客を募り、学生が自らの健康に関して考える機会を増やしていけるよう努めたい。

イベント方式は不特定多数の学生及び教職員を対象に、「バランス食」「減塩」「禁煙」「エイズ予防」「健康」の 5 つのテーマで実施した。イベント実施にあたっては、学生生活課、学生食堂栄養士、関連企業などの協力を得て、一定数の関心を得る事ができた。「禁煙」「エイズ予防」のイベントは前年度に引き続き実施しており、今後も定期開催を目指したい。

ヘルシー定食に関しては、2017 年は教職員をメインターゲットにカロリー塩分控えめの食事を中心に提供したが、2018 年は学生の利用者を増やす目的で、カロリー制限は設けずバランスのいい食事の提供回数を増やし、学生の食生活改善への関心を得ることに努めた。

健康教育は、健康の為の知識や実践力を習得し、自己管理能力を高めることに繋がり、新たな情報を得る機会である。健康に関する相談窓口として保健管理センターが学生の選択肢の 1 つとなるよう、今後もセミナーやイベントを通じて、保健管理センターの機能や役割を積極的にアナウンスしていくことも重要である。

健康教育テーマ	実施日	講師・相談員等	参加人数	実施場所
ヘルシー定食提供(減塩&600kcal) ・栄養成分表示とレシピ配布 ・アンケート画面上で保健管理センターの健康アドバイス *ヘルシー定食提供に関しては以下同様	5/23・25 (11:30~完売まで)	メニュー考案 IVCS 栄養士	2 日で 100 食完売	青山キャンパス 学生食堂
世界禁煙 Day イベント ・情報配信、ポスター展示 ・禁煙相談窓口設置	5/31~6/6 (終日)	呼吸器科医師 保健師・看護師	イベントのため カウントせず 相談者数 0 名	5 号館前喫煙所 両キャンパス 保健管理センター
ヘルシー定食提供(野菜 360g)	6/29(11:30~)	メニュー考案 IVCS 栄養士	2 日で 70 食完売	青山キャンパス 学生食堂
バランスのいい食事イベント ・ポスター展示、リーフレット配布 ・食品サンプル展示 ・栄養士相談窓口設置、事前質問受付	6/29 (11:30~13:20)	IVCS 栄養士 保健師・看護師	イベントのため カウントせず 相談者数 5 名 事前質問数 6 名	
睡眠セミナー ・不眠症（診断基準、有病率、不眠症の種類） ・睡眠不足はなぜ問題か（身体的、精神的） ・睡眠時間は人それぞれ、就寝時刻について ・生体リズム、睡眠習慣の改善方法	7/11 (15:00~16:00)	非常勤精神科医	4 名	青山キャンパス 保健管理センター
ヘルシー定食提供(減塩&600kcal)	7/25・27(11:30~)	メニュー考案 IVCS 栄養士	2 日で 120 食完売	青山キャンパス 学生食堂
ヘルシー定食提供(減塩&600kcal)	9/25・26(11:30~)	メニュー考案 IVCS 栄養士	2 日で 114 食/120 食	青山キャンパス 学生食堂
減塩イベント ・ポスター展示 ・塩分チェックシートによる自己診断	9/25・26 (11:30~13:20)	保健師・看護師	イベントのため カウントせず 塩分チェックシート利用	

・自動血圧測定 ・保健師看護師相談窓口設置			者数 48 名 自動血圧計利用者 数 18 名	
健康イベント ・体脂肪/筋肉量測定 ・血圧測定 ・食品カロリークイズ（食品サンプル設置） ・禁煙啓発	10/1～10/5 (9:00～17:00)	保健師	イベントのため カットせず	相模原キャンパス 保健管理センター
ヘルシー定食提供(減塩&バランス食)	10/24・25(11:30～)	メニュー考案 IVCS 栄養士	2 日で 120 食完売	青山キャンパス 学生食堂
性教育セミナー ・性感染症について、検査について ・妊娠、避妊について ・月経周期について	11/15・19	保健師	3 名	青山キャンパス 保健管理センター
ヘルシー定食提供(減塩&バランス食)	11/28・29(11:30～)	メニュー考案 IVCS 栄養士	2 日で 120 食完売	青山キャンパス 学生食堂
世界エイズ Day イベント ・エイズのイメージを変えよう ・日本と世界の HIV 流行の状況 ・HIV とは？エイズとは？ ・梅毒が流行しています *アンケート回答者へポスターとパンフレットを配布	11/29・30	保健師・看護師	イベントのため カットせず アンケート回答者数 896 名	青山キャンパス 17 号館入口 中庭カウチデッキ
月経についてセミナー 「じぶんのこときちんと知っていますか？」 ・生理痛の対処 ・女性の身体の仕組み	11/30 12:40～13:10	千葉県助産師会 こば やし助産院助産師	3 名	青山キャンパス 17809 教室
海外留学医療特別セミナー「留学生の旅行医学」 ・最近の海外での事故・死亡統計 ・旅行に持って行くべき 3 つの薬 ・海外で役立つ安全カルテ ・留学生のリスク、留学と予防接種	12/5 (12:35～14:00)	千駄ヶ谷インターナショナルクリニック院長(日本旅行医学会・理事)	54 名	青山キャンパス 総研 10 階 第 18 会議室
ヘルシー定食提供 (減塩&バランス食)	12/19・20(11:30～)	メニュー考案 IVCS 栄養士	2 日で 120 食完売	青山キャンパス 学生食堂
睡眠セミナー (7/11 と同一テーマ)	1/16	非常勤精神科医	8 名	青山キャンパス 保健管理センター
ヘルシー定食提供 (減塩&バランス食)	1/23・24(11:30～)	メニュー考案 IVCS 栄養士	2 日で 110 食完売	青山キャンパス 学生食堂

* イベント関連、ヘルシー定食提供の対象者は学生及び教職員

⑥感染症罹患報告者数

月 疾患名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ	9	3	0	0	0	1	0	3	7	177	0	0	200
伝染性単核球症疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
感染性胃腸炎	0	0	1	0	0	0	0	2	1	2	0	0	6
溶連菌感染症	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
水痘	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
急性気管支炎上気道炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
カンピロバクター感染症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	10	4	2	1	0	2	5	5	8	181	0	0	218

感染症罹患報告者総数は 218 名であり、インフルエンザの報告が全体の 9 割以上を占めている。インフルエンザ流行のピークが 1 月であり後期定期試験とも重なったため、感染症登校許可証明書の提出は 1 月に集中している。

2018 年度の年度はじめより全国的にはしか（麻疹）が流行し、9 月頃からは関東圏で風しんが流行したため、保健管理センターでは学生ポータル等を通じ麻しん、風しんに関する注意喚起を学生に配信した。学生からは麻しん、風しんに罹患したとの報告を受ける事はなかったが、引き続き学生及び教職員に対し、予防接種歴の確認と、2 回のワクチン接種を奨励し、感染予防に努めていく必要がある。

⑦学生の休学・退学者数

休学・退学事由		青山キャンパス	相模原キャンパス	合計
病気療養による 休学者数	精神疾患	32	8	40
	内科疾患・その他疾患	6	1	7
	合計	38	9	47
病気療養による 退学者数	精神疾患	6	2	8
	内科疾患・その他	2	0	2
	合計	8	2	10
死亡退学者数		1	0	1

2018 年度の病気療養による休学者数は昨年と比較し 10 名ほど減少した。病気療養による休学者のうち、うつ病や不安障害、気分障害、適応障害等の精神的問題で病気療養している者が 84.1%を占めており、そのうち約 70%以上の者が、1 年以上休学している。精神的問題を抱えている学生が退学に至るケースでは、1 年の休学期間を経て退学するケースが多くなっている。一方、疾患を抱えた学生は学業継続が困難になる場合があるが、今年度本学で開設された学生支援センターとの連携により、学生生活において配慮がなされて学業継続できているケースもある。今後も、身体的・精神的な問題を抱えた学生が安全に学生生活を送れるよう保健管理センターとしての役割を果たしつつ関係部署と連携していきたい。

3. 教職員定期健康診断

①教職員定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）

青山キャンパス

(2018年11月4日現在)

所 属	総 対 象 者 数	受 診 者 数	人 間 ド ク ク 受 診 者 数	受 診 率 %	項目別受診者数											
					レントゲン	心電図	血圧	尿	血液	視力	聴力	計測	腹囲	免疫学的便潜血反応	肝炎ウイルス検査	生活調査
大学本務教員	389	234	58	75.1	229	213	234	233	220	233	232	234	214	194	20	234
大学兼務教員	1	1	0	100	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1
本務職員(本部・大学)	355	284	59	96.6	274	170	283	270	250	283	283	283	170	146	19	284
兼務職員	88	70	8	88.6	67	44	69	68	57	70	70	70	44	37	13	70
幼稚園・本務兼務教職員	13	12	1	100	12	5	12	11	10	12	12	12	5	4	0	12
合 計	846	601	126	85.9	583	433	599	583	538	599	598	600	434	381	52	601
有所見者数					29	90	81	5	366	105	23	185	124	14	11	

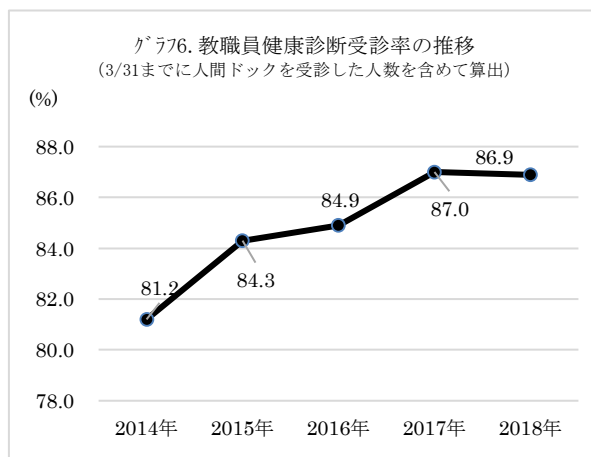
*人間ドック受診者数は2019年4月30日現在3月31日までに受診の人間ドック結果を提出した数でカウント

相模原キャンパス

(2018年11月2日現在)

所 属	総 対 象 者 数	受 診 者 数	人 間 ド ク ク 受 診 者 数	受 診 率 %	項目別受診者数											
					レントゲン	心電図	血圧	尿	血液	視力	聴力	計測	腹囲	免疫学的便潜血反応	肝炎ウイルス検査	生活調査
大学本務教員	205	150	29	87.3	149	98	150	149	112	150	149	150	93	87	6	150
大学兼務教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本務職員(本部・大学)	91	68	16	92.3	67	47	68	66	60	68	68	68	45	41	4	68
兼務職員	52	46	2	92.3	45	37	46	46	41	46	46	46	37	35	8	46
合 計	348	264	47	89.4	261	182	264	261	213	264	263	264	175	163	18	264
有所見者数					25	9	31	14	134	4	17	85	73	10	0	

*人間ドック受診者数は2019年4月30日現在3月31日までに受診の人間ドック結果を提出した数でカウント



2015年度より、保健管理センター、安全衛生委員会、人事部で、健康診断未受診者に対する働きかけを強化してきた効果が現れ、受診率は上昇傾向にあったが、2018年度は前年度を若干下回る結果となった。教職員健康診断の代替えとしての人間ドック結果の提出も徐々に徹底されてきているが、教員の受診率は依然として低い状況である。また、毎回受診奨励をしているにもかかわらず、健康診断未受診者も一定数おり、今後も引き続き、受診率向上への働きかけは必要である。

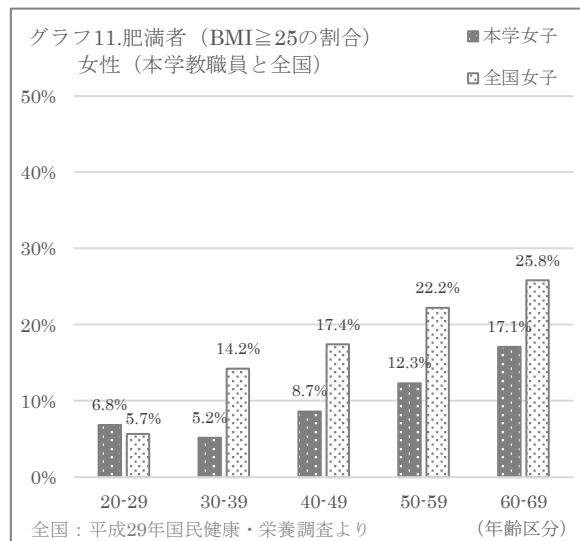
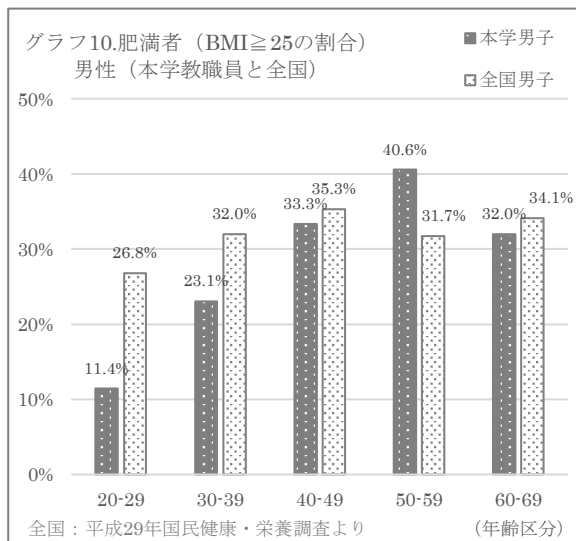
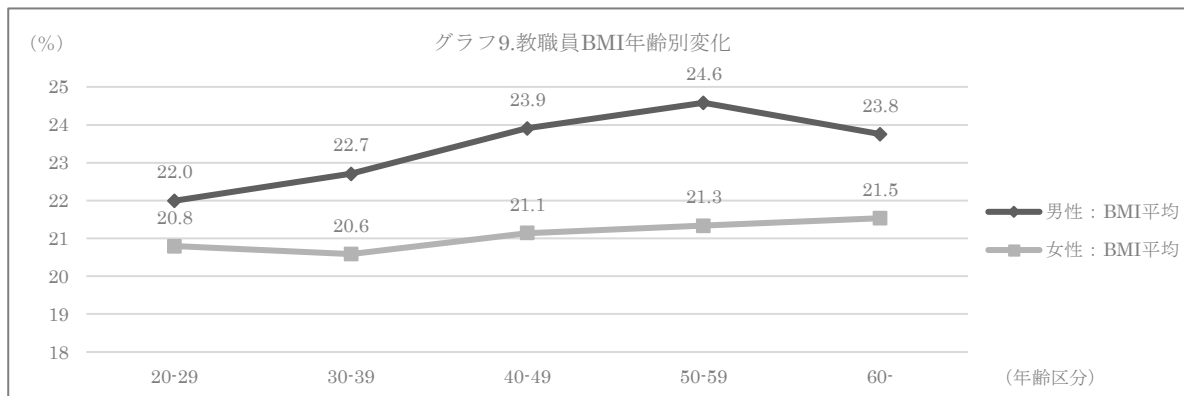
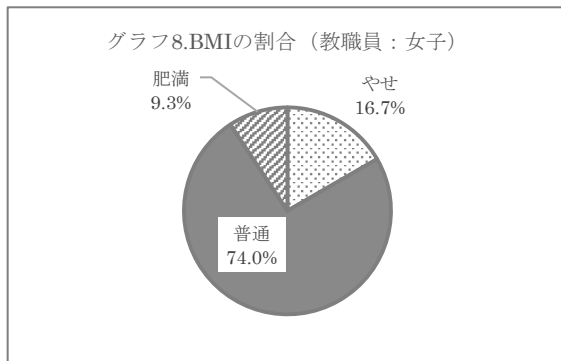
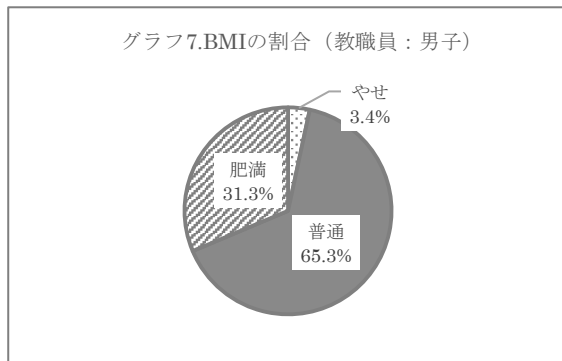
②教職員定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）

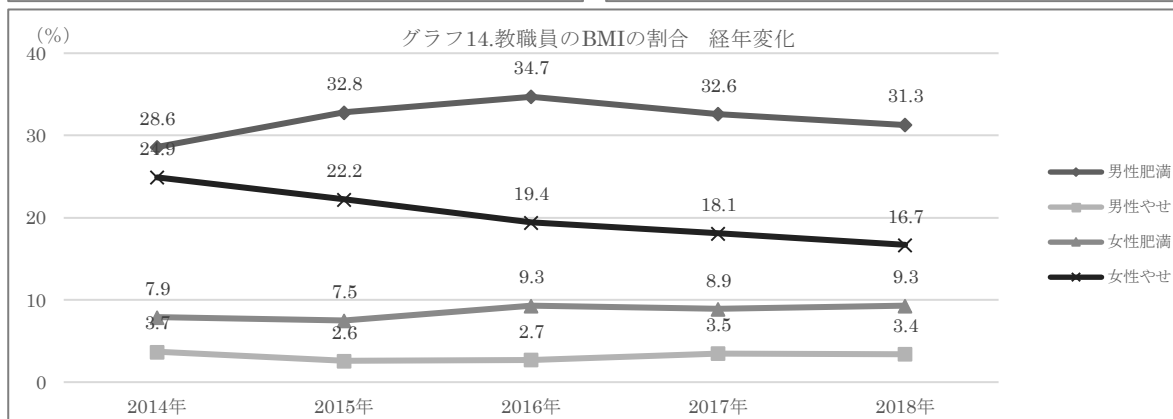
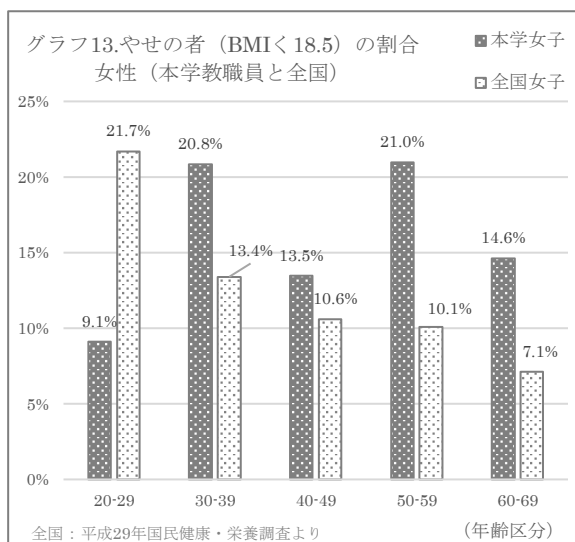
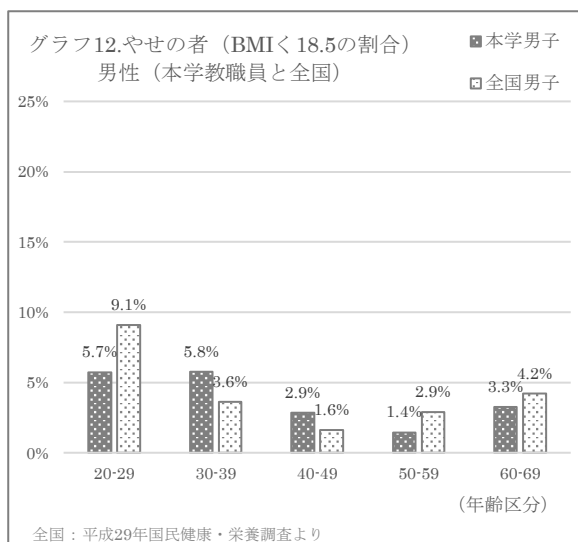
健診項目	有所見者数	有所見率(%)	有所見者の経過			
			問題なし	要経過観察	要治療又は治療中	未来室
胸部レントゲン	54	6.4	24	24、非結核性抗酸菌 (1)	小結節変化なし (1) 縦隔腫瘍 (1) 胸水貯留で再検査予定 (1) ペースメーカー (1) 受診結果報告未 (1)	0
心電図	99	16.1	14	74、ST低下 (2) 洞性徐脈 (1) 頻発性心室性期外収縮 (1) 陰性T波 (1)	大動脈弁閉鎖不全症 (1) 心房細動 (1) 不完全右脚ブロック (1) 期外収縮 (1) 心房細動 (2)	0
血圧	112	13.0	0	72	高血圧 (36) 受診結果報告未 (4)	0
尿検査	29	3.4	10	尿潜血 (1) 尿潜血・尿蛋白 (1)	糖尿病 (9) 蛋白尿 (1) 膀胱炎 (1) 病院受診結果報告未 (4)	2
血液検査	500	66.6	1	脂質異常症 (264) 肝機能障害 (138) 耐糖能異常 (177) 白血球異常 (13) 尿酸値異常 (24) 貧血 (35) 腎機能異常 (24)	脂質異常症 (34) 肝機能障害 (4) 糖尿病 (10) 高尿酸血症 (6) 貧血 (9) 高脂血症 (15) 高血圧 (4) 痛風 (5) 腎不全 (1) 受診結果報告未 (15)	2
肝炎ウイルス検査	12	17.1	1	B型肝炎抗体 (1) 、9	受診結果報告未 (1)	0
免疫学的便潜血反応	24	4.4	3	ポリープ (1) 内痔核 (2) 、1	消化器疾患 (1) 大腸ポリープ (1) 受診結果報告未 (15)	0

教職員健康診断における有所見者数は延べ830人あった。項目別有所見率でみると、脂質異常症や耐糖能異常、肝機能障害等、血液検査の有所見率が最も高く66.6%となっている。昨年の68.8%よりやや低下しているものの、引き続き医師面接や保健指導、健康セミナー等を通じて、早期からの生活習慣病の改善や予防に努めていく必要がある。

③教職員の身体状況（肥満とやせ）

本学：教職員健康診断受診者 男性499人、女性366人（女性1名未検）より算出





教職員の体格指数（BMI）の割合は、男性の肥満31.3%、やせ3.4%、女性の肥満9.3%、やせ16.7%であった。前年度と比較して男性の肥満は1.3%の減少、女性の肥満は0.4%増加し、男性のやせは0.1%減少、女性のやせは1.4%減少した。例年、教職員男性の肥満は30代までは全国平均を下回り40歳以上で全国平均を上回ってくるが、今年度は50代のみが全国平均を上回った。教職員女性の肥満は全年代で全国平均を下回っているが、やせは30代以降が全国平均を上回った。保健指導や健康教育を実施し、生活習慣改善に向けてのアプローチを継続するとともに、効果的にアプローチできるよう改善を図りたい。

④保健指導と集団健康教育

【保健指導】

青山キャンパスでは、通常健康診断事後措置（医師面談・受診勧奨）と共に、教職員に対して保健指導を行っている。2018年度の指導対象者は263名であり、その内40名（15.2%）に対して個別に保健指導を実施した。例年同様、保健指導の案内に応じた者の大半は職員である。教職員（特に教員）の健診受診率、保健指導実施率の上昇に対する取り組みのあり方を引き続き検討し、強化していく必要がある。

また、2018年度は青山、相模原両キャンパスで教職員健康診断の有所見者を対象に、フィットネスセンターの管理栄養士による食事栄養指導を受ける機会を設定した。食事栄養指導対象者は278名であり、そのうち17名（6.1%）に対し、個別の栄養食事指導を実施した。希望者は少なかったが、食事栄養面のみならず運動面でも専門家からアドバイスを受けるいい機会にもなるので、この取り組みに関してはフィットネスセンターに協力を依頼し次年度も継続する考えである。

【集団健康教育】

健康教育テーマ	実施日	講師・相談員等	参加人数	実施場所
新任事務職員研修 ・入職しておこる変化 ・社会人としての健康管理 ・青山学院の健康サポート体制	4/3	保健師	新任職員 約30名	新任職員研修会場
がん・受動喫煙関連の健康教育ブース設置 ・がんに関するDVD上映 ・ポスター展示 ・パンフレット配布	9/20・21・25・26 (9:00~16:00)	保健師・看護師	イベントのため カウントせず 相談者数0名	青山キャンパス 教職員健康診断会場 5号館510教室 5号館第4会議室
教職員健康診断健康ブース設置 ・体脂肪・筋肉量測定（脂肪モデル展示） ・血圧測定 ・食品カロリークイズ（食品サンプル展示） ・禁煙啓発	9/27・28 (9:00~17:00)	保健師	イベントのため カウントせず	相模原キャンパス 教職員健康診断会場 H棟1階
循環器医師セミナー「アンチエイジングのすすめ」 ・人間の寿命 ・現在と昔の元気高齢者の違い ・食事の量と質、食事をする時間について	11/13・20 (15:00~15:45)	非常勤循環器医師	12名	青山キャンパス 保健管理センター

*その他、学生教職員対象イベントは学生の集団健康教育の欄参照

集団健康教育の一環として2018年度は新たに4月の新任事務職員研修内で保健管理センター保健師が、健康維持のためのセルフケア及び保健管理センターの健康サポート体制や利用方法について話す機会を得た。新任者が相談窓口としての保健管理センターを認識してもらうことで、今後起こり得る心身の不調に対する早期の対応につなげていきたい。また、昨年度から青山キャンパスでは教職員健康診断会場に健康ブースを設けているが、今回は「がん」をテーマにDVD上映やポスター掲示を行い、がんについての一般的知識や、受動喫煙防止の必要性等について紹介した。相模原キャンパスでも今年度から健康ブースを設置している。4回目となる循環器医師によるセミナーは、予防医学としてのアンチエイジング、健康に長く生きるにはどうしたらよいかをテーマに、食事の質と量、食事の時間等について講師の研究結果を交えながらの講義が行われ、これまでのセミナーとは違った視点で受講者には興味深い内容となった。

⑤教職員の休職・復職者数(対象:学院全体)

休職・復職事由	青山キャンパス			相模原キャンパス		
	休職	復職	再休職	休職	復職	再休職
精神的疾患	4	1	0	3	3	1
身体的疾患	7	3	0	0	0	0
合計	11	4	0	3	3	1

※全職員の母数は、セカンダリー専任職員も含む

上記は療養就業規則上の休職者数である。全教職員に対する休職者の割合は、0.9%である。精神的疾患においては1年以上休職されているケースが多く、身体的疾患では6カ月前後の休職が多い。精神的疾患で復職支援プログラムを適用し復職したケースが4件あった。所属長や人事など関係部署と連携のもと実施され、復職した後の定着率も高い。また、今年度は教員など一般事務職以外の対象者への支援もあり、関係部署の理解を得ながら実施された。今後は職種や勤務形態に合わせた支援体制について関係部署と共に整備していく必要がある。そして、それぞれの役割を遂行しながら連携しあい、スムーズな復職支援に繋げていきたい。

⑥長時間労働者への産業医による面接

過重労働による健康障害を防止するため、安全衛生法に従って、長時間労働者（事務職員）に対して産業医による面接指導を実施している。

【面接指導対象者、及び指導項目】

残業時間（月）	疲労度チェック※1	産業医面接
法定外 80 時間越え	○	必須
法定外 60 時間越え	○	考慮※2

※1：対象者に対しては産業保健スタッフよりメールにて回答方法を案内。

※2：本人の面談希望、疲労度チェック（厚生労働省推奨）の結果、健康診断などにより産業医が実施について判断。

面接指導対象者数

対象者・指導項目 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
残業時間法定外 80 時間超え対象者数	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
残業時間法定外 60 時間超え対象者数	4	2	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	11
疲労度チェック回答数	7	2	0	0	0	0	0	2	0	1	2	0	14
医師面談数	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4

前年度は残業時間法定外 60 時間超えの者が 40 件と多く、産業医の面接指導の結果 5 名の者が就労上配慮を要する状況であった。しかし 2018 年度は残業時間法定外 60 時間超えの者が 15 名と減少し、産業医の面接指導後に就業上の配慮を要する者は 0 名であった。財務システム等の移行などにより多忙を極めた部署の業務が一段落したことや、産業医面談指導後に産業医から所属長と人事部に提出される事後措置に係る意見書で管理監督者に改善を求めたこともあり、業務改善が為されたためと思われる。

健康管理センターとしては、今後も長時間労働による、脳・心臓疾患やメンタルヘルス不調者の早期発見に努め、早期対処を図りたい。

⑦ストレスチェック受検率に関する報告(対象:学院全体)

2014 年の労働安全衛生法の改正により、従業員のストレスチェックが事業者に対し義務付けられた。本学では 2016 年度から実施し、今回 3 回目の実施となった。

【実施期間】 2018 年 11 月 12 日～12 月 1 日

【対象】 定期健康診断対象者で 2018 年 10 月 1 日時点在籍の教職員
(幼稚園・初等部・中等部・高等部の教職員を含む)

【実施方法】 ティーペック (株) ストレスチェック web システムを採用 (若干名、ペーパー受検者あり)

【周知方法】 ストレスチェック実施説明会、教職員ポータル、学部長会、教授会、事務連絡会等

全体受検率

年度	対象人数	受検人数	受検率 (%)
2018 年度	1508	1006	66.7
2017 年度	1527	1040	68.1
2016 年度	1503	914	60.8

2018 年度の受検率は学院全体で 66.7%であった。実施 3 年目にして受検率は初年度より 5.9%上昇しているものの、昨年より 1.4%低下している。引き続き、受検案内に関する周知や勧奨の方法を検討していく必要がある。

高ストレス判定者の抽出に関しては、厚生労働省の定めた判定基準を採用し実施しているが、集団ごとの集計・分析の結果は、昨年同様、学院全体としてのストレス状態は平均的、もしくはやや低い状態との結果であった。集団分析結果は基幹部署より所属長にフィードバックが行われている。今後は、フィードバック後の対応について所属長へのヒアリングを基幹部署が中心となって実施し職場環境改善に努めていく予定である。

4. その他の法定健康診断

①特殊健康診断（相模原キャンパス）

1) 特殊健康診断実施者数

(2019年3月31日現在)

内訳 項目		対象者数 (人)			受診者数 (人)			受診率 (%)		
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計
春期特殊健康診断		38	241	279	38	241	279	100	100	100
内 訳	電離放射線	33	202	235	33	202	235	100	100	100
	有機溶剤	6	-	6	6	-	6	100	-	100
	特定化学物質	18	-	18	18	-	18	100	-	100
	有機溶剤・特化物	-	82	82	-	82	82	-	100	100
秋期特殊健康診断		37	-	37	37	-	37	100	-	100
内 訳	電離放射線	33	-	33	33	-	33	100	-	100
	有機溶剤	5	-	5	5	-	5	100	-	100
	特定化学物質	16	-	16	16	-	16	100	-	100

※四捨五入

2) 電離放射線健康診断結果

(2019年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数 (人)			有所見者数 (人)			有所見率 (%)			再検査・精査 (人)		経過観察 (人)		備考
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	教職員	学生	
春期	電離放射線使用による健康障害	33	202	235	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
	白血球数・白血球百分率検査	33	202	235	1	14	15	3.0	6.9	6.4	0	0	1	0	所見あるも問題なし14名
	貧血検査	33	202	235	0	20	20	0.0	9.9	8.5	0	0	0	0	所見あるも問題なし20名
	水晶体・皮膚所見	33	202	235	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
	自覚症状調査	33	202	235	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
秋期	電離放射線使用による健康障害	33	-	33	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	
	白血球数・白血球百分率検査	33	-	33	1	-	1	3.0	-	3.0	0	-	0	-	所見あるも問題なし1名
	貧血検査	33	-	33	1	-	1	3.0	-	3.0	0	-	0	-	所見あるも問題なし1名
	水晶体・皮膚所見	33	-	33	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	
	自覚症状調査	33	-	33	2	-	2	6.1	-	6.1	0	-	0	-	

※四捨五入

3) 有機溶剤健康診断結果 ※学生は特定化学物質健康診断を兼ねてカント

(2019年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数 (人)			有所見者数 (人)			有所見率 (%)			再検査・精査 (人)		経過観察 (人)		備考
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	教職員	学生	
春期	有機溶剤による健康障害	6	82	88	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
	蛋白尿	6	82	88	1	3	4	16.7	3.7	4.5	0	3	0	0	所見あるも問題なし1名
	貧血検査	-	82	82	-	0	0	-	0.0	0.0	-	0	-	0	
	肝機能検査	1	82	83	0	2	2	0.0	2.4	2.4	0	2	-	0	
	尿代謝物検査	5	-	5	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	
	自覚症状検査	6	82	88	1	16	17	16.7	19.5	19.3	0	0	0	0	
	他覚症状	6	82	88	0	1	1	0.0	1.2	1.1	0	0	0	0	有所見者1名、業務起因性ではない

秋 期	有機溶剤による健康障害	5	-	5	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	
	蛋白尿	5	-	5	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	
	貧血検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	肝機能検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	尿代謝物検査	4	-	4	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	
	自覚症状調査	5	-	5	1	-	1	20.0	-	20.0	0	-	0	-	
	他覚症状	5	-	5	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	

4) 特定化学物質健康診断結果

(2019年3月31日現在)

項目		内訳	実施者数 (人)	有所見者数 (人)	有所見率 (%)	再検査・精査 (人)	経過観察 (人)	
			教職員	教職員	教職員	教職員	教職員	
春 期	特定化学物質による健康障害		18	0	0.0	0	0	
	自覚症状調査		18	3	16.7	0	0	
	尿蛋白・尿潜血		12	2	16.7	1	1	
	胸部直接撮影		3	0	0.0	0	0	
	尿ウロビリノーゲン		2	0	0.0	0	0	
	血清インジウム		2	0	0.0	0	0	
	尿中マンデル酸		1	0	0.0	0	0	
	KL-6		2	0	0.0	0	0	
	赤血球・全血比重・白血球数		3	0	0.0	0	0	
	握力		2	0	0.0	0	0	
	鼻・歯の所見		2	0	0.0	0	0	
	皮膚所見		10	0	0.0	0	0	
	肺活量		1	1	100.0	0	1	
	肝機能検査		14	2	14.3	0	2	
秋 期	特定化学物質による健康障害		16	0	0.0	0	0	
	自覚症状調査		16	3	18.8	0	0	
	尿蛋白・尿潜血		5	0	0.0	0	0	
	胸部直接撮影		4	1	25.0	0	0	所見あるも問題なし1名
	尿ウロビリノーゲン		2	0	0.0	0	0	
	血清インジウム		2	0	0.0	0	0	
	尿中マンデル酸		1	0	0.0	0	0	
	KL-6		2	0	0.0	0	0	
	赤血球・全血比重・白血球数		3	0	0.0	0	0	
	握力		2	0	0.0	0	0	
	鼻・歯の所見		3	0	0.0	0	0	
	皮膚所見		10	0	0.0	0	0	
	肺活量		1	1	100.0	0	1	所見あるも問題なし1名
	肝機能検査		7	2	28.6	1	1	※要精査1名（業務起因性ではない）

2018年度特殊健康診断対象者の健診受診率は100%であった。有所見者は数名いたが、今年度も薬品や放射線の影響による所見と判断されたケースはなかった。

②雇入時の健康診断

1) 雇入れ時健康診断受診者数 *外部医療機関にて実施*

(2019年3月31日現在)

月 所属	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本部	9	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
大学	68	1	1	0	1	8	14	3	1	5	0	0	102
女子短期大学	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
高等部	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
中等部	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
初等部	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	105	2	2	0	1	8	15	3	1	5	0	0	142

2) 雇入時の健康診断有所見者の経過

検査項目	有所見者数	再検査	経過観察	病院受診	病院受診結果
胸部レントゲン	14	0	10	4	異常なし (4)
心電図	17	0	16	1	経過観察 (1)
血圧	8	0	7	1	内服治療 (1)
尿検査	4	4	0	0	
血液検査	68	0	66	2	未受診 (2)

雇入時健康診断実施者 142 名中、有所見者は実人数で 76 名と約半数以上に及ぶ。有所見で多いのは、脂質異常症 43 名、糖代謝異常 27 名、肝機能障害 27 名で、その他に貧血 9 名、高血圧 8 名を認めた。肥満者は 18 名、やせの者は 10 名であった。今年度の雇入時健康診断実施者の平均年齢は 38.5 歳であり、雇入時から既に生活習慣病関連項目の有所見率が高い。当年度入職者に対しては、教職員健診後の保健指導対象者として、健診結果を基に、身体面・精神面を含めた健康支援を実施している。

③特定業務従事者健康診断

2018 年度の特定業務従事者健康診断対象者は 1 名（深夜業を含む業務に従事する者）であり、予定通り実施した。

5. 健康診断証明書発行業務

①青山キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2019年3月31日現在)

月 内訳			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自動 発行 内 訳	1年生	人数	4	13	19	19	1	3	9	5	2	6	1	2	84
		枚数	4	13	19	19	1	3	9	5	2	6	1	2	84
	2年生	人数	6	15	15	14	3	5	1	2	1	5	2	5	74
		枚数	6	15	15	14	3	5	1	2	1	5	2	5	74
	3年生	人数	10	18	22	49	36	29	31	6	4	16	29	115	365
		枚数	10	18	22	52	38	29	31	6	4	16	36	138	400
	4年生	人数	212	942	594	297	115	165	104	42	22	25	17	37	2572
		枚数	273	1144	653	342	138	169	108	48	22	26	18	43	2984
	大 学 院 生	人数	5	6	6	2	4	5	2	2	0	2	5	6	45
		枚数	7	6	6	2	8	5	2	2	0	2	5	12	57
	専門職大 学院生	人数	3	6	7	1	1	1	3	1	4	0	0	1	28
		枚数	4	6	7	1	1	1	3	1	5	0	0	1	30
	科目等 履修生	人数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		枚数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
窓口発行 含英文診断書		人数	3	14	6	3	4	2	7	12	0	2	1	27	81
		枚数	3	14	6	3	4	3	7	12	0	2	1	27	82
合 計		人数	243	1015	669	385	164	210	157	70	33	56	55	193	3250
		枚数	307	1217	728	433	193	215	161	76	34	57	63	228	3712

②相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2019年3月31日現在)

月 内訳			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自動 発行 内 訳	1年生	人数	3	7	10	4	3	2	1	2	1	1	1	2	37
		枚数	3	7	10	4	3	2	1	2	1	1	1	2	37
	2年生	人数	1	3	9	2	1	0	1	1	1	1	0	0	20
		枚数	1	3	9	2	1	0	1	1	1	1	0	0	20
	3年生	人数	2	6	9	14	10	8	1	7	0	13	5	42	117
		枚数	2	6	9	14	10	8	1	7	0	13	5	64	139
	4年生	人数	74	237	119	40	18	47	15	11	9	8	8	7	593
		枚数	104	298	132	48	20	51	16	11	9	8	11	7	715
	大 学 院 生	人数	26	70	27	5	5	4	1	2	2	3	8	28	181
		枚数	34	88	27	5	5	4	1	2	2	3	9	30	210
	科目等 履修生	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窓口発行 含英文診断書		人数	0	4	1	2	0	0	0	2	0	0	0	1	10
		枚数	0	4	1	4	0	0	0	2	0	0	0	1	12
合 計		人数	106	327	175	67	37	61	19	25	13	26	22	80	958
		枚数	144	406	188	77	39	65	20	25	13	26	26	104	1133

青山キャンパスの健康診断証明書発行枚数は前年度に比べ、大幅に減少した。3年生以外はすべて減少しており、一人当たりの発行枚数も減っているが、就職率との関連性は見受けられない。

相模原キャンパスにおいては前年度とほぼ同じであった。

6. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況

①青山キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2019年3月31日現在)

月 所属			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 生	昼間部	男	255	160	78	93	9	26	76	72	64	44	6	3	886
		女	1130	286	170	158	12	59	121	116	107	72	7	18	2256
	夜間部	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	男	18	31	26	20	11	31	47	39	28	20	13	25	309	
	女	22	19	29	30	14	33	83	47	22	25	19	20	363	
その他			9	5	11	13	10	10	13	10	9	7	41	12	150
合 計			1434	501	314	314	56	159	340	284	230	168	86	79	3965

(検査・処置等利用内容別件数)

検査処置項目			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検 査	血 圧		48	30	36	69	4	15	44	21	12	15	5	5	304
	検 尿		934	37	6	6	1	2	40	7	0	1	0	0	1034
	検 便		0	6	2	37	6	20	16	4	0	1	0	0	92
	血 液		9	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	13
	視 力		87	14	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	102
	心 電 図		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計 測		78	70	92	108	11	37	91	47	49	70	38	8	699
	聴 力		0	5	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	10
	自動血圧計		6	30	30	21	4	26	45	91	39	21	7	15	335
	体脂肪計		0	24	19	2	0	0	2	17	0	2	2	2	70
処 置	投 薬		20	29	28	25	6	11	19	21	13	16	16	2	206
	処 置		52	51	61	77	9	25	78	48	34	24	26	16	501
	ベッド休養		63	66	88	106	8	34	79	54	38	33	18	11	598
	医師診療		70	40	33	18	2	13	27	21	35	19	38	20	336
	病院紹介		51	37	25	22	4	6	20	11	12	16	3	3	210
	救 急 車		2	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	7
	病院搬送		0	3	4	0	0	1	2	0	0	2	0	0	12
	保健指導		107	138	38	6	1	1	1	31	1	0	0	0	324
	問診調査・相談		99	112	54	65	22	48	72	94	98	43	19	33	759
合 計		1627	693	519	563	78	241	537	468	335	264	173	115	5613	

(症状・疾患別利用者数)

月			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
症状・疾患															
胃腸症状			17	18	18	22	3	8	19	10	13	13	20	0	161
感冒			16	26	35	17	3	16	28	28	22	45	3	2	241
頭痛			22	13	22	25	2	3	16	9	7	10	8	0	137
気分不快			13	15	10	41	2	6	12	6	2	2	1	6	116
貧血			5	4	0	4	0	0	4	1	1	1	0	3	23
切傷			2	3	5	2	0	1	3	1	1	1	0	1	20
外傷			17	12	21	26	4	7	28	18	9	6	3	6	157
化膿			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
捻挫・打撲			10	4	8	5	1	4	11	6	6	1	1	1	58
骨折・脱臼			0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
腰・筋肉痛			2	5	7	6	0	3	5	1	2	2	2	1	36
火傷			1	6	2	6	0	2	7	6	3	0	0	0	33
皮膚疾患			3	12	8	9	1	0	7	3	2	2	1	0	48
昆虫刺傷			4	1	2	2	0	2	0	1	0	0	0	0	12
眼疾患			1	6	1	5	3	0	2	1	2	1	1	2	25
歯疾患			1	0	2	0	0	0	3	0	0	0	1	0	7
耳鼻科疾患			1	4	3	5	0	1	4	2	0	1	4	0	25
生理痛			6	15	11	17	2	5	6	11	8	3	5	2	91
泌尿器疾患			0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
口腔疾患			0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
精神疾患			14	19	32	15	2	11	32	35	25	8	3	16	212
その他の疼痛			3	8	8	12	1	2	5	1	3	5	0	0	48
その他			18	19	25	24	4	23	37	14	21	11	12	7	215
合 計			157	191	222	244	28	96	229	154	127	112	66	47	1673

2017年度はメンタル面の問題を抱える学生が複数回ベッド休養を利用することが多かったが、2018年度は一日に複数回ベッド休養する学生が少なくなったこともあり2017年度の811件から2018年度は598件と減少した。

②相模原キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2019年3月31日現在)

月			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	昼間部	男	72	61	45	36	2	12	36	34	25	17	10	3	353
		女	103	50	26	36	3	13	18	24	18	7	3	1	302
	夜間部	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員		男	9	8	12	18	5	15	29	25	16	16	14	7	174
		女	2	4	1	5	2	3	24	19	9	3	2	6	80
その他			0	3	1	1	0	0	2	0	1	0	1	2	11
合 計			186	126	85	96	12	43	109	102	69	43	30	19	920

(検査・処置等利用内容別件数)

検査処置項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血 圧	5	0	0	1	0	0	2	0	1	2	0	0	11
	検 尿	53	15	6	2	1	1	16	1	0	0	1	0	96
	検 便	0	0	0	6	1	7	14	1	0	1	0	0	30
	血 液	2	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	視 力	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6
	心 電 図	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計 測	4	10	8	10	2	3	9	1	11	4	6	2	70
	聴 力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	自動血圧計	12	9	14	26	1	15	23	11	4	3	9	4	131
処置	体脂肪計	3	2	0	6	0	25	8	4	0	1	0	2	51
	投 薬	4	9	7	10	1	2	10	6	12	8	1	3	73
	処 置	11	9	21	15	2	3	18	10	15	5	10	1	120
	ベッド休養	8	14	15	25	1	2	17	4	4	0	2	1	93
	医師診療	28	16	15	17	2	7	10	22	14	8	4	4	147
	病院紹介	3	4	7	6	1	0	5	5	4	0	6	0	41
	救急車	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	病院搬送	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	4
	保健指導	28	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
合 計	問診調査・相談	37	60	18	29	5	18	29	63	26	21	8	8	322
		200	152	118	155	17	84	164	128	92	53	48	25	1236

(症状・疾患別利用者数)

月 症状・疾患	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃腸症状	1	2	6	7	1	2	3	2	5	2	6	2	39
感冒	3	12	6	10	0	1	7	2	10	9	0	2	62
頭痛	3	4	3	8	1	1	5	3	1	0	0	0	29
気分不快	1	5	2	2	0	2	5	2	3	0	0	0	22
貧血	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
切傷	6	2	3	2	0	1	3	4	3	1	5	0	30
外傷	4	2	7	7	1	1	2	0	1	0	4	0	29
化膿	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
捻挫・打撲	2	1	4	4	0	1	6	4	3	3	0	1	29
骨折・脱臼	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
腰・筋肉痛	2	0	4	0	1	1	2	0	1	0	2	1	14
火傷	0	1	0	2	0	0	4	0	1	2	0	0	10
皮膚疾患	1	0	4	3	0	0	0	1	1	0	0	0	10
昆虫刺傷	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
眼疾患	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	6
歯疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科疾患	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	4
生理痛	1	0	2	3	0	1	3	0	0	0	0	0	10
泌尿器疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔疾患	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精神疾患	11	22	10	13	1	4	15	11	10	8	5	3	113
その他の疼痛	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	3	1	2	4	0	0	4	0	2	0	3	1	20
合 計	39	55	55	68	5	16	62	31	45	25	26	10	438

相模原キャンパス保健管理センターの年間来室者数に大きな変化はないが、昨年度と比較すると精神衛生に関連した症状による来室者数が5～7月に増加し、それに伴い保健師による健康相談やベット休養件数も増加したと考えられる。

7. 各キャンパス業務内容利用状況

①青山キャンパス

1) 保健管理センター全来室者数

(2019年3月31日現在)

来室理由 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康診断者数	12238	0	0	0	0	601	0	0	0	0	0	0	12839
外部受診者数	21	22	15	21	6	13	8	3	2	1	1	1	114
保険診療者数	1	0	1	3	0	1	2	0	1	1	1	1	12
証明書発行者数	3	14	6	3	4	2	7	12	0	2	1	27	81
救急処置・検査等	1434	501	314	314	56	159	340	284	230	168	86	79	3965
自動血圧計	6	30	30	21	4	26	45	91	39	21	7	15	335
体脂肪計	0	24	19	2	0	0	2	17	0	2	2	2	70
合 計	13703	591	385	364	70	802	404	407	272	195	98	125	17416

2018年度の救急処置・検査等来室者は2017年度の4338件から3965件と減少している。救急処置・検査等来室者の内訳をみると例年同様、胃腸症状・感冒・頭痛・精神疾患が上位を占めている。しかし精神疾患に関しては、一日に複数回ベッドを利用する学生が少なくなったこともあり2017年度406件から2018年度212件と減少した。

2) 精神科医面談者数（教職員はセカンダリーを含めた休職・復職・ストレスチェック関係の面談もカウント）

(2019年3月31日現在)

身分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	7	7	6	6	1	3	3	4	5	1	0	1	44
教職員	6	5	11	6	0	6	16	3	19	6	2	15	95
合計	13	12	17	12	1	9	19	7	24	7	2	16	139

*教職員はセカンダリー含む

精神科医の面談件数は139件で昨年度と同様の件数であった。教職員に限っては、休職・復職関係、ストレスチェック関係の面談が主であるが、精神的問題を抱える同僚への接し方に悩む教職員に対しての相談にも応じている。

学生に関しては、精神科医との面談の結果治療が必要であると判断された場合は精神科へ紹介すると共に、精神的に不安定な状況の時には保健スタッフが落ち着くまで話を聞き、ベッド休養を促すなどの対応を行っている。また、留学生からの相談を受ける事もあり、外国語で対応可能な精神科クリニック等の病院紹介も増している。

3) 事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2019年3月31日現在)

内訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身分	学 生	1	2	4	1	0	2	3	0	0	3	0	0	16
	教職員・その他	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合 計		2	3	5	1	0	2	3	0	0	3	0	0	19
原因	事 故	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	疾 病	2	3	5	1	0	1	3	0	0	3	0	0	18
対応	救急車依頼	2	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	7
	病院搬送	0	3	4	0	0	1	2	0	0	2	0	0	12

救急車の搬送は2017年度16件だったが2018年度は7件と減少した。救急搬送は7件で、内科疾患6件・事故1件であった。病院搬送は12件で、救急車を要請するほどではないが早急に病院受診の必要と判断した場合や近隣で専門の病院がみつからない場合などタクシーや電車を利用し保健管理センター職員が付添い受診した。

4) 夜間開室時間帯の利用者数（救急処置・検査等保健管理センター利用状況）（2019年3月31日現在）

内訳 月	身 分								内 容									
	昼間部		夜間部		教職員		その他	合計	計測	投薬	処置	ベッド休養	医師面接	病院紹介	救急搬送	問診調査・相談	健診後再検査等	その他
	男	女	男	女	男	女												
4月	3	7	0	0	0	0	0	10	5	0	0	3	0	1	0	2	2	0
5月	3	7	0	0	0	0	2	12	1	1	2	3	0	2	0	2	4	0
6月	2	4	0	0	0	0	1	7	2	0	3	0	0	1	0	0	1	1
7月	4	9	0	0	1	2	1	17	9	2	6	8	1	1	0	0	0	3
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
9月	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
10月	2	12	0	0	0	1	1	16	4	0	6	5	0	0	0	2	0	0
11月	2	5	0	0	1	0	0	8	3	1	1	5	0	0	0	1	0	1
12月	3	2	0	0	3	0	0	8	2	1	2	2	0	0	0	0	0	3
1月	0	7	0	0	1	0	0	8	7	4	1	5	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	19	54	0	0	6	4	5	88	33	9	21	32	1	5	0	7	8	8

17時以降の利用者数は2017年度162名だったが、2018年度は88名と減少している。こちらも「6.救急処置・検査等保健管理センター利用状況」と同様、メンタル面の問題を抱えた学生が複数回来室する学生が少なくなったため、特に男子学生の利用者が2017年度の76名から2018年度19名と減少した。

②相模原キャンパス

1) 保健管理センター全来室者数

(2019年3月31日現在)

来室理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康診断者数	4,354	272	82	0	0	300	1	0	0	0	0	0	5,009
外部受診者数	5	12	9	3	0	4	3	1	0	0	0	0	37
保険診療者数	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5
証明書発行者数	0	4	1	2	0	0	0	2	0	0	0	1	10
救急処置・検査等	186	126	85	96	11	43	109	102	69	43	30	19	920
自動血圧計	12	9	14	26	1	15	23	11	4	3	9	4	131
体脂肪計	3	2	0	6	0	25	8	4	0	1	0	2	51
合 計	4,561	426	192	135	12	387	144	120	73	47	39	26	6,163

2) 精神科医面談者数（ストレスチェックによる面談も含む）

(2019年3月31日現在)

人 数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人 数	1	3	1	3	1	0	1	2	4	2	2	0	20

3) 事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2019年3月31日現在)

内訳	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身 分	学 生	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	教職員・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
原 因	事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	疾 病	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
対 応	救急車依頼	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	病院搬送	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

相模原キャンパスでは、定期の学生健康診断・教職員健診に加え、理工学部教職員・学生に対して特殊健康診断（5・9月）、地球社会共生学部の5月以降に留学から帰国する学生に対して外部受診による定期健康診断（6・7月）を行っている。昨年度と比較すると精神衛生に関連した症状による来室者数が増加し、それに伴い健康相談やベット休養件数も増加したが、精神科医の面談件数に目立った変化はなかった。保健管理センターが介入した救急車要請・病院搬送対応については、医療機関に速やかに搬送することができた。

8. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況

実施日			キャンパス	行事内容	男	女	合計	内容
2018年	4/2	月	青	入学式	0	2	2	感冒症状 (1) 腰痛 (1)
	5/26・27	土・日	青	専門職大学院入試	0	1	1	貧血 (1)
	6/2・3	土・日	青	東北学院大学対青山学院大学総合定期戦 救急待機	1	1	2	外傷 (1) 脳震盪 (1)
	6/9	土	相	Aoyama Rikei Girls フェア	0	0	0	
	7/14	土	相	大学院博士前期課程7月入試	0	0	0	
	7/8	日	青	専門職大学院入試	0	0	0	
	7/15	日	相	オープンキャンパス	0	0	0	
	8/3-5	金-日	青	オープンキャンパス	2	6	8	生理痛 (1) 熱中症 (1) 捻挫打撲 (1) 頭痛 (1) 腹痛 (1) その他 (3)
	9/8	土	相	大学院博士前期課程9月入試	0	0	0	
	9/15	土	青	推薦・特別・編入・転学部転学科入試	1	0	1	脱臼 (1)
	9/23	日	青	青山学院大学同窓祭	1	3	4	外傷 (1) 切傷 (1) 昆虫刺傷 (1) その他 (1)
	9/29	土	青	推薦・特別・編入・転学部転学科入試	0	0	0	
	10/6・7	土・日	青	専門職大学院入試	1	2	3	嘔吐 (1) 捻挫打撲 (1) その他 (1)
	10/6・7	土・日	相	相模原祭	5	3	8	感冒 (1) 火傷 (3) 捻挫打撲 (1) その他 (3)
	10/13	土	青	推薦・特別・編入・転学部転学科入試	0	3	3	外傷 (2) その他 (1)
	10/13	土	相	大学院博士前期・後期課程外国人留学生入試第1期、大学院博士後期課程入試第1期	0	0	0	
	11/2-4	金-日	青	青山祭	6	14	20	感冒 (2) 切傷 (1) 外傷 (1) 火傷 (1) 胃腸症状 (1) 捻挫打撲 (3) 生理痛 (2) 過呼吸 (2) その他 (7)
	11/10	土	青	推薦・特別・編入・転学部転学科入試、大学入学共通テスト導入試行調査	1	0	1	その他 (1)
	11/10	土	相	推薦・特別・編入・転学部転学科入試	1	0	1	外傷 (1)
	11/23・24	金・土	青	推薦・特別・編入・転学部転学科入試	0	1	1	外傷 (1)
	11/24	土	相	推薦・特別・編入・転学部転学科入試	0	0	0	
	12/8・9	土・日	青	専門職大学院入試	0	0	0	
2019年	1/19・20	土・日	青	センター入試	1	1	2	胃腸症状 (1) その他 (1)
	2/2	土	青	専門職大学院入試	0	1	1	頭痛 (1)
	2/2	土	相	大学院博士前期・後期課程外国人留学生入試第2期、大学院博士後期課程入試第2期	0	0	0	

9 年	2/7・10・11・ 13・14・15・ 18・19・21	月- 日	青	一般入試	19	29	48	感冒 (2) 頭痛 (4) 腰痛 (2) 生理痛 (4) 気分不快 (1) 嘔気・嘔吐 (14) 鼻出血 (4) 外傷 (1) 歯痛 (1) メンタル (1) その他 (14)
	2/16	土	青	国際マネジメント研究科入試	0	0	0	
	2/23	土	青	会計プロフェッション研究科入試	0	0	0	
	3/25	月	青	学位授与式	5	9	14	気分不快 (4)、貧血 (1)、外傷 (1) 生理 痛 (1) メンタル (1) その他 (6)

9. 各種情報処理

①学生健康診断処理関係

月	処理内容	保健管理センター処理	事務システム室処理
4 月	保健データ管理画面アップデート開始	4/2～通年	
	学生健康診断検尿データアップデート処理	4/6・9～11・14・16・18～20	
	学生健康診断データ (HCCALT) アップデート処理	4/12	4/12
	春プリントファイル更新処理		4/12・24
	学生健康診断有所見者リスト出力処理	4/13	
	健康診断証明書ファイル作成		4/24
	健康診断結果通知打出し処理	4/24	
	Web 版健康診断結果処理	4/24	4/24
7 月	学生健康診断データ (相模原 HCCALT) アップデート処理	7/18	7/18
	春プリントファイル更新処理		7/18
	地球共生学部留学帰国生の健康診断証明書ファイル更新処理		7/20
11 月	学生現在症呼出しリスト出力処理	11 月初旬	
3 月	学生身分異動統計処理	3/22	
	学籍新年度処理 (SAMSHOUDB 新年度学籍情報参照開始)		3/28
	新年度離籍分離処理	3/29	
	メモデータ離籍分離処理	3/29	
	保留データ離籍分離処理	3/29	
	学生健康診断対象者名簿作成処理	3/29	

②教職員健康診断処理関係

月	処理内容	保健管理センター処理	人事部処理
6月	人事部人事課より 教職員退職者、定期健康診断受診対象者リスト提供		6/12
	教職員健康診断Accessデータ作成処理	6/12	
	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	6月 (各キャンパスごと)	
9月	人事部給与課より6月以降就任、退職者リスト提供		9/3
	教職員健康診断Accessデータ更新処理	9/3	
10月	教職員健康診断結果アップデート処理	10月中旬	
	人間ドック結果用Accessデータ作成処理、適宜更新	10月中旬～通年	
	私学共済提出用健康診断結果処理	10月中旬～通年	

11月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	11月(各キャンパスごと)	
1月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	1月(各キャンパスごと)	
2月	人事部人事課より雇入れ時健康診断対象者リスト提供		2月～通年
	雇入れ時健康診断Accessデータ処理	2月～通年	
3月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	3月(各キャンパスごと)	
	雇入れ時健康診断結果アップデート処理	3月～通年	

10. 受動喫煙防止対策

青山キャンパスでは今年度、受動喫煙による健康被害から学生や教職員を守り、より健康的で快適な学生生活・職場環境を整備することを目的に、大学内喫煙所が、東京都受動喫煙防止ガイドラインに応じた適切な喫煙所であるか否かの現状調査を実施した。その結果を踏まえて、教育機関として学生の喫煙に関する考え方や喫煙環境のあり方、労働衛生における喫煙環境について検討する機会を提供した。

【方法】

本学付属の環境安全センターに依頼し、屋外喫煙所からのタバコ煙の拡散状況を「浮遊粉じん濃度変化」と「においの感知」で評価を行った。また、健康診断時に学生・教職員の喫煙状況の実態調査を行うと共に、喫煙環境の実地現状調査を行い、法令や医学学会、厚生労働省の資料を基に、大学内喫煙所のあり方について検討し報告書を作成した。

【結果】

喫煙所周囲で浮遊粉じん濃度変化の増加が認められた。非喫煙者の活動スペースにおいてにおいの感知が認められ、風向きや喫煙所の利用人数によりにおいの感知は増強した。以上のことから、未成年を含む非喫煙者にタバコの煙の影響を与えており、適切な喫煙所には不十分な状況であった。また、喫煙マナーにおいて、喫煙可能域外や人目のつかない場所での喫煙、喫煙所の長時間滞在や休憩スペースとしての利用があった。2018年度の学生喫煙状況は入学後、年々喫煙率が増加しており、在学中に喫煙を始める者が多く存在していた。

【今後の対応】

上記の喫煙問題に対して、学生生活や大学施設、労働安全衛生の部署が連携して今後の対策に取り組む必要がある。2019年度の安全衛生委員会では職場の受動喫煙防止対策が活動計画に新たに盛り込まれ実施に向け審議される予定である。

青山キャンパス所属の学生・教職員喫煙率

